

マス・フォア・ソサエティ

— 社会を支える数理のチカラ —

2025.11.15 事前登録制、参加費無料
(土) 13:20~17:00
(13:00~開場)

開催方法

ハイブリッド形式(対面:100名、オンライン500名/^{Zoom}_{ウェビナー})

PROGRAM

13:00	開場、受付開始	
13:25~13:45	開会のご挨拶 マス・フォア・インダストリ研究所 所長 梶原 健司 教授 来賓のご挨拶 文部科学省 大学研究基盤整備課 俵 幸嗣 課長	
13:45~14:20	講演1 自然現象を読み解く:データと数理モデルの競合と協調 京都大学数理解析研究所 准教授 竹広 真一	
14:20~14:55	講演2 空間パターン形成による臨界転移の回避 明治大学総合数理学部先端数理科学研究科 教授 小川 知之	
14:55~15:10	休憩	
15:10~15:45	講演3 不規則の中の規則性 大阪公立大学国際基幹教育機構 准教授 数見 哲也	
15:45~16:20	講演4 統計的手法による地震活動の理解:点過程モデルを中心に 統計数理研究所リスク解析戦略研究センター 特任准教授 熊澤 貴雄	
16:20~16:55	講演5 部分から全体を知る:標本調査における統計的推定 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 准教授 廣瀬 雅代	
16:55~17:00	閉会のご挨拶 京都大学数理解析研究所 大木谷 耕司 所長	

近年、ビッグデータや人工知能といった高度な先進技術の研究開発が世界中で盛んに行われています。これらの技術を開発し使いこなすためには、情報科学に加え、数学・統計の基礎知識が必要不可欠となっています。つまり、数学はもはや社会を支える基盤技術として欠かせないものとなっており、今後その必要性は高まる一方だと予想されます。本講演会では、日本を代表する数学・数理科学の5研究機関で行われている数々の研究や共同利用事業などをもとに、社会を支える数学・数理科学に関する最先端の研究を市民の皆様へ分かりやすく紹介します。



主催 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所
京都大学数理解析研究所
大阪公立大学数学研究所
情報・システム研究機構 統計数理研究所
明治大学先端数理科学インスティテュート

後援 日本数学会
日本応用数理学会
統計関連学会連合
福岡県教育委員会
福岡市教育委員会

参加方法

Webページからお申し込みください

最新情報や会場案内もこちらからご覧ください。
高校生や教職員の方をはじめ、どなたでもご参加いただけます。



<https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp/post-19385/>